



ファブリックの可能性を探る加工技術展を開催

住江織物株式会社

住江織物株式会社のグループ会社である尾張整染株式会社では、2015年7月から約2ヶ月間に渡り、ファブリックの加工技術展を開催しました。同社は、自動車・インテリア・アパレルに用いられるファブリック素材へのプリント、エンボス、起毛、バックコーティングといった加工技術を得意としており、1971年の創業以来、ファブリックの可能性を追求し、独自技術を磨いてまいりました。



今回の展示会のテーマは「彩-Sai-」。技術チーム毎で一つの色に的を絞り、色の効果と同社が持つ独自技術を掛け合わせた、ユニークな試みとなりました。

2ヶ月間で約80社、300名以上の方々がお来場し、自動車内装やインテリア分野の既存のお客様だけではなく、今までお取引のなかった会社にも多数ご参加を頂きました。前回の展示会以降、10数社と新規取引を開始し、20品目以上の量産化に成功しており、展示会の目的のひとつである、新たな顧客の開拓を着実に達成しております。

今後も2年に一度、展示会を開催していく予定で、この取組みを継続することにより、新たな販路の開拓だけではなく、若手社員の育成、技術力のアップも図っていくつもりです。



